

○事業所名	すみだ福祉保健センター みつばち園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	233	(回答者数) 159
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理・保育・OT・PT・ST等の専門職を配置して、専門的な療育・発達課題に適した教材を提供、保護者の相談に対応している。	親子通園を基本として、集団・個別・保育所等訪問支援などを組合わせ利用者の主訴や発達段階にあった療育の提供を行っている。必要に応じて他の専門職の評価を行なうなど、利用者の成長や変化を捉えるように連携を図っている。	みつばち園の特徴である親子通園を継続すると共に、スタッフの専門性をより高めるため、チームで支援する体制づくりの促進、専門研修の受講等を強化していく。
2	利用者の保護者へのサポートを行っている。	療育後のフィードバックに加え、保護者交流会や勉強会、ペアレントプログラム等を実施している。	より保護者のニーズに合わせたテーマの設定や独自のアンケート等を実施していく。
3	墨田区の児童発達支援センターとして、区の児童発達支援の要となっている。	初回インテークの実施や、児童発達支援センターとして地域の幼稚園や保育園等に対して、事例検討会等を行っている。	今後も、地域のニーズに合わせたセンターとしての役割を担うため、研修会を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設や備品の老朽化・バリアフリー化が充分でない。	療育設備の不足。施設は、老朽化した複合施設のため、設備拡充による対応が困難となっている。	新施設への移転が計画されている(R11年度予定)。小規模な修繕を行いながら、快適な環境で療育を行うことができるよう計画をしていく。
2	利用希望者数に対して、ハード面(室数など)が不足しているため、ニーズに十分応えることができない。	利用希望者の増加に対して職員数と部屋数が追いついていない。	新施設への移転が計画されており、部屋の数や職員数も増加予定である。 保育所等訪問支援等、ハード面を除いて対応できるニーズの高まりもあるため、対応できる事業強化を図っている。
3	利用者間の交流や、地域との交流など、広い関わりの機会が少ない。	周知の機会や、地域交流の機会が少ない。	保護者支援として、ペアレントプログラムを実施している。地域支援として、関係事業所に向けた事例検討会等を開催している。